

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：健康増進対策費

事業名 医科歯科連携推進事業費補助金 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 在宅医療福祉係 電話番号：058-272-1111 (内 2624)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,750 千円 (前年度予算額：6,750 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,750	0	0	0	0	0	6,750	0	0
要求額	6,750	0	0	0	0	0	6,750	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・入院中の口腔機能管理は、口腔合併症の改善・予防の他にも、誤嚥性肺炎の発症予防や在院日数の減少にも繋がるといわれており、口腔の健康が全身の健康につながるものとして医科歯科連携の重要性が指摘されている。このため、地域の歯科医療関係職種が、地域中核病院においてNST（栄養サポートチーム）や周術期（手術前・後）等のチーム参画、会議等に参加し、病院スタッフに対し、口腔管理に係る助言や保健指導を行い、入院患者の口腔機能管理の向上並びに病院に歯科の重要性を理解してもらうことが必要である。
- ・岐阜県における誤嚥性肺炎による死亡率は、44.1%（H30 人口動態統計調査・全国4位）と高く、継続的な口腔管理をする必要がある。病院スタッフでの管理には限界があり、歯科医療従事者の支援は必須である。

(2) 事業内容

- ・地域の中核病院との連携を実施。
- ・連携内容は以下のように様々な機能・目的があり、地域の実情や病院の機能に応じて異なる

- ・連携内容の例：病院内チーム（周術期、摂食嚥下、糖尿病ケア、認知症ケア、緩和ケア、呼吸ケア等）への参画・サポート、患者への保健指導、病院スタッフ教育 等

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・医療介護総合確保推進法に基づく県計画において、負担率 10/10 の事業として計上。

(4) 類似事業の有無 ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	6,750	@450 千円×15 地域歯科医師会に対する助成等
合計	6,750	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第7期岐阜県保健医療計画 歯科保健医療の役割
 - 「周術期における口腔機能管理の促進を図るため、手術前を含めた日常の口腔管理の重要性及び周術期の口腔ケアの必要性について啓発します」
 - 「医師や訪問看護師、介護支援専門員などの多職種と連携した口腔ケアを実施するため、口腔ケアの必要性や口腔内の観察・評価方法を学ぶ研修会を開催する等、口腔ケアに関する正しい知識と技術の普及を図ります。」
- ・第3期岐阜県歯・口腔の健康づくり計画
 - 「誤嚥性肺炎の予防に向けた口腔機能管理を推進します」
 - 「医科や介護職と歯科医療関係者との連携を促進します」
 - 「歯科医療等従事者やその他保健医療従事者に対して実施する研修等の充実を図ります」
 - 「口腔と全身の関係について普及するとともに、基礎疾患を有する人の歯科口腔保健対策を推進するため、医科・歯科等の連携を推進します」
 - 「口腔管理の観点から医科歯科連携により5疾病への対応を推進します」
 - 「入退院における医科歯科連携、歯科・介護連携の強化を図ります」

(2) 事業主体及びその妥当性

- ・専門的な歯科口腔保健医療に関する幅広い知識を有し、他分野の団体とのネットワークを構築し、地域との連携体制を推進することができる地域歯科医師会を主体として進めることが効果的である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地域中核病院において歯科医師や歯科衛生士がチーム（NST、周術期）や会議等に参加する病院数の増加を図るため、地域中核病院と地域歯科医師会との連携体制の構築を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
連携体制を構築している地域数	0 (H26)	5 (H28)	5 (H29)	10 (R1)	15 (R3)	66.6%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
地域中核病院への参画地域歯科医師会数：10 地域

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
病診連携に向けた合同講演会を開催したほか、病院内のNSTチーム等に参画し、医科・歯科連携における口腔管理の重要性を病院スタッフに啓発することができ、病診連携体制の構築に繋がった。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	地域中核病院に歯科の重要性を推進することは、在院日数の削減や、健康寿命の延伸にも大きく繋がることから事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	地域の中核病院のチームや会議等に参加し、歯科の重要性を普及啓発することにより、医科と歯科との連携を構築することができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	医療の現場で医科と歯科の専門的な視点を合わせ、質の高い医療を提供することは、患者への生活の質の向上に繋がる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 口腔機能管理の必要性を実証し、周術期における口腔合併症や誤嚥性肺炎等の予防が図れるよう連携体制を構築していく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 口腔機能管理の必要性を実証し、周術期における口腔合併症や誤嚥性肺炎等の予防が図れるよう連携体制を構築していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	